

城跡芸術展 2026「風景を引き継ぐ ― 城跡から亀岡へ」

亀岡ゆかりのアーティスト27組による大規模な展覧会を開催

かめおか霧の芸術祭実行委員会(委員長:佐々木 京子)は、令和8年10月10日(土)から10月25日(日)まで、京都府亀岡市ゆかりの芸術家による展覧会「城跡芸術展」を丹波亀山城跡で開催します。自然と調和した歴史的で非日常感あふれる空間をめぐりながら、絵画や彫刻、工芸、インスタレーションなど多様な芸術作品を一度に鑑賞することができる展覧会です。

10月9日(金)に記者・招待者向け内覧会を行います。



開催概要

日 時 10月10日(土)～10月25日(日) 午前10時～午後4時30分

会 場 丹波亀山城跡(大本本部・みろく会館/春陽閣/花明山植物園)

JR 嵯峨野線亀岡駅から徒歩約10分、駐車場あり

入場料 無料(ワークショップは一部参加費あり)

主 催 かめおか霧の芸術祭実行委員会、亀岡市

【本件に関するホームページ】 <https://kameoka-kiri.jp/calender/shiroato2026/>

【お問い合わせ先】京都府亀岡市 生涯学習部 文化芸術課 文化振興係長:池永 菜穂子(イケナガ ナオコ)

TEL 0771-55-9655 E-mail: bunka-kokusai@city.kameoka.lg.jp



※会場の一部(左:大本本部・みろく会館、右:花明山植物園)

【内覧会】

日 時 10月9日(金) 午前10時～正午

場 所 丹波亀山城跡(大本本部)みろく会館3階ホール

対 象 記者・招待者

内 容 主催者等の挨拶の後、在廊する出展作家の説明を聞きながら会場内をご覧ください。
時間内であれば自由にご覧いただくことができます。

■新たな芸術に触れるきっかけに

2020年に丹波亀山城跡ではじまり、2022年から「城跡芸術展」として続いてきた芸術展。今年のテーマは「風景を引き継ぐ ― 城跡から亀岡へ」。作品だけでなく、土地の歴史や自然、人々との出会い、交わされた言葉や記憶も、この芸術展の風景です。昨年度に掲げた「村祭りのような芸術展」という姿を受け継ぎながら、作家や地域の人々が集い、関係を育む場を未来へ手渡していきます。霧の立ち込める亀岡で、ともに新たな風景をつくりませんか。皆さま、お待ちしております。

■みどころ

① 出展作家それぞれが開催するイベントシリーズ

昨年度に引き続き、アートユニットの副産物産店(矢津吉隆・山田毅)をディレクターに迎え、27組の作家による作品を展示するだけでなく、トークやワークショップなどの関連企画、及び規模を拡大したミュージアムショップも展開予定です。

② 全国都市緑化フェア in 京都丹波との連携企画

今年度は城跡芸術展と同時期に全国都市緑化フェア in 京都丹波が開催されます。そこで、城跡会場と緑化フェア会場を企画スタッフとともに巡り、それぞれの会場の魅力や作品の背景を知りながら、展覧会をより深く味わう「城跡と公園をめぐるブリッジアートツアー」や、緑化フェア出展作家のグッズも取り扱うミュージアムショップを展開するなど、城跡会場にとどまらない連携企画を進めます。

【本件に関するホームページ】 <https://kameoka-kiri.jp/calender/shiroato2026/>

【お問い合わせ先】 京都府亀岡市 生涯学習部 文化芸術課 文化振興係長：池永 菜穂子（イケナガ ナオコ）

TEL 0771-55-9655 E-mail: bunka-kokusai@city.kameoka.lg.jp

③ 会場である丹波亀山城跡の魅力

丹波亀山城は1577年頃に明智光秀によって築城され栄えたのち、明治維新後の廃城令により解体されましたが、現在は所有者である「宗教法人 大本」により石垣などが修復され、地域の歴史を感じる自然豊かな場として人びとに開かれています。

城跡芸術展では、丹波亀山城跡に佇む美しい日本家屋だけでなく、約1000種類もの植物が栽培・保護されている「大本花明山植物園」など、多様な場所に作品を展開します。

④ サポーターの存在

城跡芸術展やかめおか霧の芸術祭を支える人々「市民サポーター」が2022年から誕生しました。本展はアーティストと市民が一緒に作り上げていく展覧会として、市民サポーターとともに新たな出会いや交流が生まれることを目指します。本年も会期中の展示だけでなく、イベントについても市民サポーターと運営します。

■出展アーティスト

世界的に活躍するアーティストから近年注目されている新進気鋭のアーティストまで、亀岡にゆかりのある芸術家の作品が丹波亀山城跡に集まります。

出展アーティスト:27組

ACOON HIBINO、Luan Banzai(ルアン・バンザイ)、MUKU ART BASE(森田舞+山本学司)
ZENG HUIRU、越後光詞、大矢一成、奥村博美、小松千倫、阪本結、土淵麻衣、出口鯉太郎、でぐちみつぎ、時田早苗、中島麦、西久松洋子、西久松吉雄、西久松綾、藤川耕生、ベリーマキコ、松岡勇樹、村上有輝、モフモフコレクティブ 2026(ヤノベケンジ、山口京将、佐久間花音)、森太三、八木良太、山本和夫、吉田伊佐、綿引恒平／篠窯・焼き物プロジェクト

■同時開催イベント

【全国都市緑化フェア in 京都丹波】

全国都市緑化フェアは、住民一人ひとりがみどりの大切さを知るとともに、みどりを守り、たのしめる知識を深め、みどりがもたらす快適で豊かな暮らしがあるまちづくりを進めるため、昭和58(1983)年から毎年、全国各地で開催されている「花と緑の祭典」です。

第43回の舞台となる「京都丹波」は、亀岡市、南丹市、京丹波町の2市1町が一つとなった広大なフィールド。日本の原風景ともいえる農村や里山が広がり、豊かな自然、歴史ある文化、そして独自の食の恵みが、それぞれのまちで深く息づいています。

令和8年秋、その3つのまちの個性が交わり、京都丹波全体が一つのテーマパークとなります。ここで暮らす人々の手により支えられた美しい自然(環境)、そこで育まれる美味しい旬の味覚(食農)、

【本件に関するホームページ】 <https://kameoka-kiri.jp/calender/shiroato2026/>

【お問い合わせ先】 京都府亀岡市 生涯学習部 文化芸術課 文化振興係長：池永 菜穂子（イケナガ ナオコ）

TEL 0771-55-9655 E-mail : bunka-kokusai@city.kameoka.lg.jp

そして心動かす芸術(アート)。京都丹波でしか味わえない「みどりの物語」と「こころ豊かな時間」を見つけるため、3つのまち巡りをぜひお楽しみください。

日 時 9月18日(金)～11月8日(日)

会 場 全5会場(京都・亀岡保津川公園および周辺/亀岡運動公園および周辺/園部公園および周辺/
わち山野草の森および周辺/京都府立丹波自然運動公園および周辺)

提 唱 国土交通省

主 催 京都府、亀岡市、南丹市、京丹波町、公益財団法人都市緑化機構

【本件に関するホームページ(全国都市緑化フェア in 京都丹波)】<https://kyototamba-fair.jp/>

■かめおか霧の芸術祭とは

かめおか霧の芸術祭が開催されている京都府亀岡市は、山々に囲まれた自然豊かな盆地で、寒暖差が大きく、晩秋から初春に連日見られる霧が名物です。その霧を地域の象徴として、2018年から年間を通じて様々な活動をしています。

作品だけが芸術ではなく、先人の知恵や職人の技、農村の美しい風景など、形のないものや日々の暮らしを豊かにしてくれるものも“芸術”として捉え、文化芸術の振興だけでなく、アートの力による地域課題の解決にも取り組んでいます。当芸術祭の取り組みは、2020年に内閣府から「SDGs 未来都市」と「自治体SDGs モデル事業」に選ばれており、まちのSDGsに関わる活動を進めるためのプラットフォームの役割も担っています。

【本件に関するホームページ(かめおか霧の芸術祭)】<https://kameoka-kiri.jp/>

【本件に関するホームページ(亀岡市のSDGsの取り組み)】

<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/sdgs/index.html>

【本件に関するホームページ】 <https://kameoka-kiri.jp/calender/shiroato2026/>

【お問い合わせ先】 京都府亀岡市 生涯学習部 文化芸術課 文化振興係長：池永 菜穂子（イケナガ ナオコ）

TEL 0771-55-9655 E-mail : bunka-kokusai@city.kameoka.lg.jp